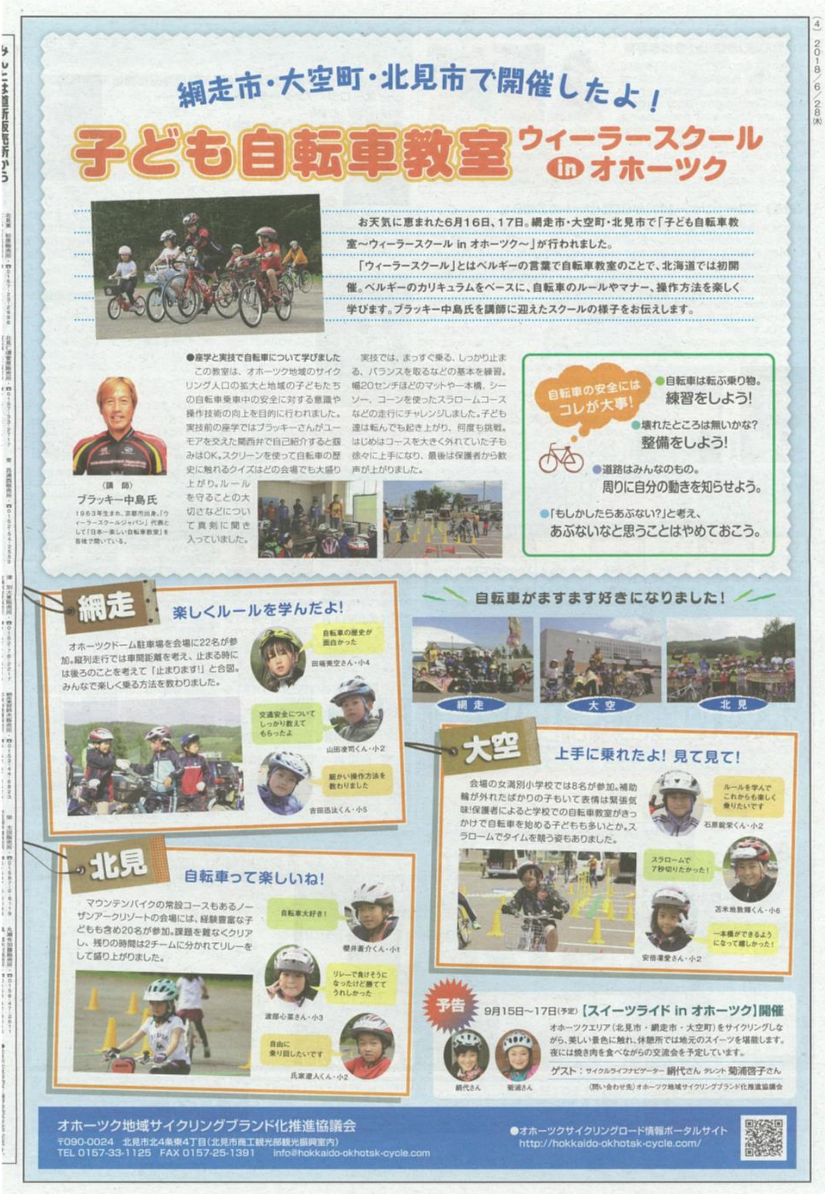
北海道新聞
自治体PR・地方創生関連ご案内

«オホーツク地域サイクリングブランド化企画»

「子ども自転車教室」の募集告知から報告紙面までを北海道新聞朝刊と『みんと』で発信

オホーツク管内のサイクリング協会や観光、行政関係者などによって、2016年度に『**オホーツク地域サイクリングブランド化推進協議会**』がつくられました（国の交付金を活用、3カ年事業）。これまでは、サイクリングコースや駐輪場の整備、レンタルバイクの貸し出しなどに力を入れた活動が中心で広告を使った展開はありませんでした。しかし、2018年度は地域住民への活動の周知や近隣地域へのPRのためにも広告を活用する方向性を探られていました。そこで、6月中旬に開催予定のあった**「子ども自転車教室」**を題材に提案した結果、**参加者の募集告知から実施報告紙面の掲載までを、北海道新聞朝刊とフリーペーパー『みんと』を活用して行うことになりました。**



(4)　2018/6/28(木)

網走市・大空町・北見市で開催したよ！

子ども自転車教室　ウィーラースクール in オホーツク

お天気に恵まれた6月16日、17日。網走市・大空町・北見市で「子ども自転車教室～ウィーラースクール in オホーツク～」が行われました。

「ウィーラースクール」とはベルギーの言葉で自転車教室のことで、北海道では初開催。ベルギーのカリキュラムをベースに、自転車のルールやマナー、操作方法を楽しく学びます。ブラッキー中島氏を講師に迎えたスクールの様子をお伝えします。

●座学と実技で自転車について学びました

この教室は、オホーツク地域のサイクリング人口の拡大と地域の子どもたちの自転車乗車中の安全に対する意識や操作技術の向上を目的に行われました。実技前の座学ではブラッキーさんがユーモアを交えた関西弁で自己紹介すると掴みはOK。スクリーンを使って自転車の歴史に触れるクイズはどの会場でも大盛り上がり。ルールを守ることの大切さなどについて真剣に聞き入っていました。

実技では、まっすぐ乗る、しっかり止まる、バランスを取るなどの基本を練習。幅20センチほどのマットや一本橋、シーソー、コーンを使ったスラロームコースなどの走行にチャレンジしました。子ども達は転んでも起き上がり、何度も挑戦。はじめはコースを大きく外れていた子も徐々に上手になり、最後は保護者から歓声が上がりました。

〈講　師〉
ブラッキー中島氏
1963年生まれ、京都市出身。「ウィーラースクールジャパン」代表として「日本一楽しい自転車教室」を各地で開いている。

自転車の安全にはコレが大事！
- ●自転車は転ぶ乗り物。練習をしよう！
- ●壊れたところは無いかな？整備をしよう！
- ●道路はみんなのもの。周りに自分の動きを知らせよう。
- ●「もしかしたらあぶない？」と考え、あぶないなと思うことはやめておこう。

網走　楽しくルールを学んだよ！

オホーツクドーム駐車場を会場に22名が参加。縦列走行では車間距離を考え、止まる時には後ろのことを考えて「止まります!」と合図。みんなで楽しく乗る方法を教わりました。

自転車の歴史が面白かった　田端美空さん・小4
交通安全についてしっかり教えてもらったよ　山田凌司くん・小2
細かい操作方法を教わりました　吉田迅汰くん・小5

自転車がますます好きになりました！
網走　大空　北見

大空　上手に乗れたよ！見て見て！

会場の女満別小学校では8名が参加。補助輪が外れたばかりの子もいて表情は緊張気味!保護者によると学校での自転車教室がきっかけで自転車を始める子どもも多いとか。スラロームでタイムを競う姿もありました。

ルールを学んでこれからも楽しく乗りたいです　石原能栄くん・小2
スラロームで7秒切りたかった！　苫米地敦輝くん・小6
一本橋ができるようになって嬉しかった！　安倍凜愛さん・小2

北見　自転車って楽しいね！

マウンテンバイクの常設コースもあるノーザンアークリゾートの会場には、経験豊富な子どもも含め20名が参加。課題を難なくクリアし、残りの時間は2チームに分かれてリレーをして盛り上がりました。

自転車大好き！　櫻井蒼介くん・小1
リレーで負けそうになったけど勝ててうれしかった　渡部心菜さん・小3
自由に乗り回したいです　氏家達人くん・小2

予告　9月15日～17日(予定)【スイーツライド in オホーツク】開催

オホーツクエリア（北見市・網走市・大空町）をサイクリングしながら、美しい景色に触れ、休憩所では地元のスイーツを堪能します。夜には焼き肉を食べながらの交流会を予定しています。

ゲスト：サイクルライフナビゲーター 絹代さん　タレント 菊浦啓子さん

絹代さん　菊浦さん

（問い合わせ先）オホーツク地域サイクリングブランド化推進協議会

オホーツク地域サイクリングブランド化推進協議会
〒090-0024　北見市北4条東4丁目（北見市商工観光部観光振興室内）
TEL 0157-33-1125　FAX 0157-25-1391　info@hokkaido-okhotsk-cycle.com

●オホーツクサイクリングロード情報ポータルサイト
http://hokkaido-okhotsk-cycle.com/

（2018年6月28日 フリーペーパー「みんと」 全13段）

4月、5月と北見市内で子どもの自転車事故が続いていたこともあり、**「安全に自転車に乗ってほしい」という保護者の声**も多く聞こえ、参加希望へとつながる流れもありました。また、講師として招かれた「ブラッキー中島氏」は、自転車業界の有名人で、トークもうまく子どもたちをひきつけ、実技でもイキイキと活動させていました。

初めて紙面を使った感想や反響について、**同協議会からは「北見市・網走市・大空町で構成する協議会の取り組みを、オホーツク管内の多くの方々に周知できた」「短期間での募集であったが、それなりの参加者が確保できた」「子どもたちのコメントなども実施報告紙面に掲載したことにより、今後はいつ開催するのかといった問い合わせもあった」などの評価をいただきました。**今回の取り組みだけで終わることなく、今後も続いていく同協議会の活動を継続的に広告紙面でサポートしていけたらと考えています。

（北見支社営業部 伊藤雅代）

◆お問い合わせ／北海道新聞社営業局（TEL011-210-5713）または 各支社営業部へ（2018.8）
＊ウェブサイトにバックナンバー掲載中！【道新 営業局】で検索！（https://adv.hokkaido-np.co.jp/）